

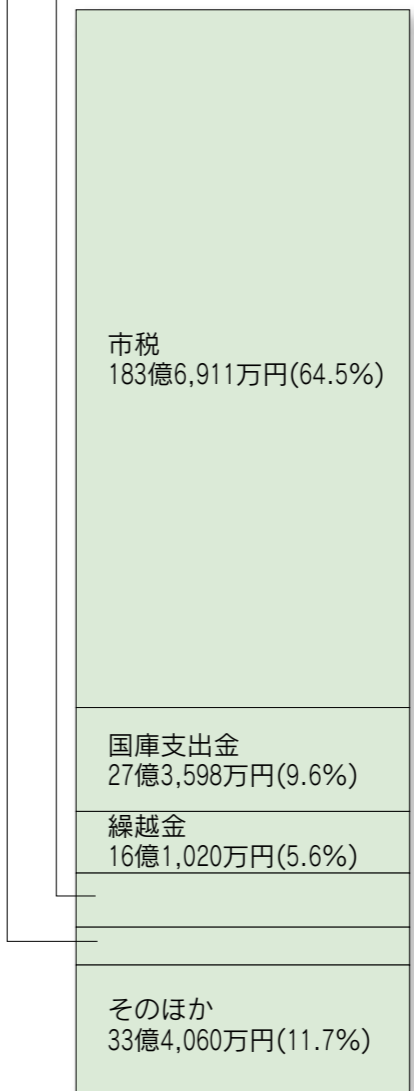
決算報告

9月市議会で認定された一般会計、5つの特別会計、2つの企業会計について、大切なお金の使い道を報告します。(金額はすべて1万円未満四捨五入)

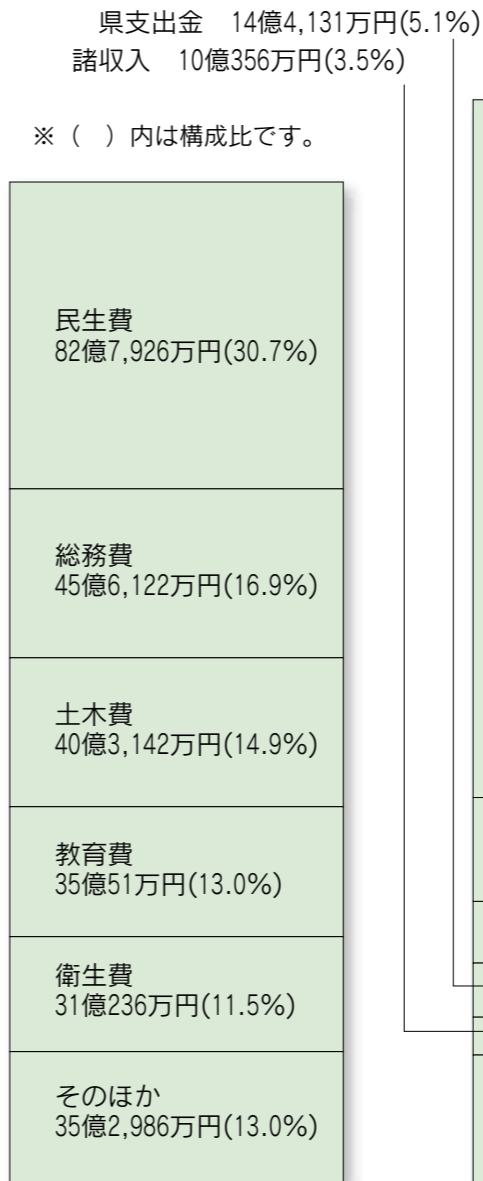
一般会計
 歳入の64.5%を市税が占めています。市税のなかでは、固定資産税が48.4%、市民税が41.9%で全体の90.3%を占めています。
 昨年9月に創設したふるさと応援寄附金は2億462万円余となりました。また、消費税引き上げにより地方消費税交付金は9億888万円余(前年度比21.2%増)となりました。

【歳出】
民生費 臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金の支給を行いました。
 また、新川児童クラブ分館の設置や中町ちびっこ広場の整備を行い、子育て環境の充実に努めました。
総務費 社会保障・税番号制度実施に伴い、住民基本台帳システムや国民健康保険システムなどの改修を行うことで、10月から順次始まる制度運用に備えました。
 また、公共施設の円滑な維持保全を図るため、新たに公共施設維持基金を創設し、6億円の積立てを行いました。
土木費 土地開発公社から名鉄跡地緑地および街区公園用地の再取得、伊勢土地地区画整理事業に伴う近隣公園用地取得に対する公共施設管理者負担金事業を行いました。
 そのほか、公共施設の改善、長寿命化など事業を推進しました。
教育費 南中学校の改築における実施設計および既設校舎解体工事を行うとともに、新川幼稚園園舎についても、耐震補強工事を行いました。
 また、芸術文化ホール中央監視システムの臨海体育館エレベーターの更新を行い、安心・安全な利用環境の整備に努めました。
衛生費 高齢者肺炎球菌および水ぼうそうの定期予防接種に伴い、市民の皆さんへの周知を図るとともに接種率の向上に努めました。

問合せ 行政課財政係



一般会計歳入総額
285億76万円
前年度比4.5%増



一般会計歳出総額
270億463万円
前年度比5.2%増

※()内は構成比です。

県支出金 14億4,131万円(5.1%)
 諸収入 10億356万円(3.5%)

市税の内訳

項目	決算額
市民税(個人)	76億9,338万円(46億1,040万円)
市民税(法人)	(30億8,298万円)
固定資産税	88億8,958万円
軽自動車税	1億3,978万円
市たばこ税	4億9,562万円
都市計画税	11億5,075万円

都市計画税の充当状況

項目	事業費	充当金額
公園事業	2億4,040万円	3,688万円
下水道事業	15億4,400万円	9億6,088万円
土地区画整理事業	5,225万円	782万円
地方債償還	2億3,720万円	1億4,517万円
合計	20億7,385万円	11億5,075万円

特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	61億9,318万円	60億8,244万円
公共下水道事業	37億761万円	34億2,407万円
訪問看護事業	5,789万円	2,625万円
介護保険	41億9,700万円	39億6,600万円
後期高齢者医療保険	7億4,218万円	7億4,037万円

企業会計決算

水道事業		
	収入	支出
収益的収支	14億6,149万円	12億7,299万円
資本的収支	1億4,213万円	8億3,230万円

病院事業		
	収入	支出
収益的収支	74億5,914万円	94億6,299万円
資本的収支	16億2,651万円	17億8,544万円

健全化判断比率・資金不足比率を公表します

問合せ 行政課財政係

平成26年度決算の健全化判断比率を示す4指標と公営企業の資金不足比率を公表します。

これらの比率は、赤字額や借入金の額などをもとに自治体の財政の健全化度を数値として表したものです。いずれも、値が少ないほどその自治体の財政は健全な状態にあります。

総評
 平成26年度決算は、健全化判断比率および各公営企業の資金不足比率が基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。

健全化判断比率 (単位%)

指標	公表数値	早期健全化基準
実質赤字比率	—	12.74
連結実質赤字比率	—	17.74
実質公債費比率	1.0	25.00
将来負担比率	—	350.00

- ※「—」は実質的な赤字、将来負担が発生していないことを示しています。
- 実質赤字比率は、一般会計などの赤字の割合を示すものです。
 - 連結実質赤字比率は、市全体の会計の赤字の割合を示すものです。
 - 実質公債費比率は、一般会計などが負担する借入金の返済額などの割合を示すものです。(3か年平均)
 - 将来負担比率は、一般会計などが将来負担すべき借入金などの割合を示すものです。

資金不足比率 (単位%)

(企業ごとに資金不足(赤字)の割合を示します)

公営企業会計名	公表数値	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
病院事業会計	—	
公共下水道事業特別会計	—	

※「—」は資金不足ではないことを示しています。

そのほか 技能五輪あいち大会を競技会場の1つとして臨海体育館において開催しました。また、西三河物産市、全日本製造業コマ対戦G3碧南場所などを行い、ものづくりの振興に寄与しました。

総括
 歳入は、決算額285億76万円に対前年度比4.5%増となりました。市税は固定資産税の減少がありました。法人市民税の大幅な増により対前年度比21億2千591万円増(13.1%増)となりました。また、寄附金では、ふるさと応援寄附金により対前年度比2億454万円増(750.1.9%増)の大幅な増となりました。

歳出全般で対前年度比13億4千499万円増(5.2%増)となりました。道路や公園などの整備にかかる土木費は対前年度比10億3千595万円増(34.6%増)、公共施設維持基金の創設などにより総務費は対前年度比9億1千308万円増(25.0%増)、農業や漁業の振興などにかかる農林水産業費は対前年度比9千127万円増(25.7%増)となりました。歳入財源として、貯金(財政調整基金)から5千500万円を取崩し、借金(地方債)を8億5千40万円発行して財政運営を行いました。